

<b>事業所名</b>	十字園グループホーム (クリックすると事業者の情報にリンクします)
<b>日付</b>	平成18年11月20日
<b>評価機関名</b>	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 障害者自立支援調査員 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員 B:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<p>入居者がありのままに生きられるように、錢の煙家として自然体で安心して暮らせ、一日一日を大切に送れるよう支援している。</p> <p>家族と様々な諸事業から離れて暮らしていても、一人一人が役割をもって生きる価値があり、出会った人達と仲良く生活できるホームを目指している。</p> <p>職員は笑顔を忘れず、質の高い介護サービスを提供し、地域との触れ合いを大切にしている。</p> <p>自立支援のための環境作りを組み立て、安心して生活できるような介護を目指している。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>懐かしい年中行事や伝統行事を取り入れ、入居者と共に参加することにより季節や日時を知り、入居者が安心して落ち着いた日々を送ってもらえるよう努めている。</p> <p>「自分の事は自分でしている」と思ってもらえるよう、黒子の役目に徹して支援している。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>落合駅から3キロほど東へ車を走らせた頃、右前方に「ふれあいタウン十字園」のアーチ型の看板がよこそとばかりに迎えてくれる。広い敷地内には、ケアハウス・デイサービス・ヘルパーステーション・特養・ショートステイが併設されており、地域福祉に貢献している。</p> <p>美しい山々・澄んだ空・おいしい空気など、雄大な大自然の中にグループホームは位置している。認知症であっても相互に関わり合い、温もりと共に余生を明るく過ごし、生きることの楽しさが実感できる場を提供している。</p> <p>田植えから取入れまでの工程をホームで実施し、機械に頼らない稲作を体験してきた入居者に懐古と共同作業の楽しさを味わってもらっている。</p> <p>管理者と計画作成担当者は、職員と連携を取りながら介護内容への個別の気づきシート(課題抽出補助シート)や職員が統一対応するためのノートを作成し、入居者の変化や介護方法を見逃さず、カンファレンスやケアプランに反映させている。</p> <p>年間を通して取り組んだ文化活動での作品を地域を挙げた催しの「まちかど落合展」に出展している。グループホームコーナーでは入居者の作品を展示し、生き甲斐作りと地域との交流に繋げている。</p> <p>過去一年間、管理者・職員とも退職者が一人もいない。また、開設してからも退職者は一人しかおらず、そのことから馴染みのある家族作りが行われ、入居者が安心できるホーム生活を送っていることがうかがわれる。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>法人全体の広報誌に、グループホームの様子を掲載したものを発行している。改善とは思わないが、グループホームは第二の我が家のようなホームになっており、十字園グループホーム独自の家族新聞等を作り、入居者の生活の一筋一筋を家族に伝えることが出来たなら、入居者と家族の心の絆をさらに深める良いパイプ役になれるのではと思う。</p> <p>金銭管理と買物の支援においては、諸事情もあり急な改善は望めないが、入居者の状況を見守りながら、買い物体験を通して社会に一步踏み出した場面での自己決定や希望の表出を促して行けたなら、さらに「普通の暮らし」になるように思う。</p>

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<p>人生の背景を日常の会話の中から拾い集め、川柳・盆栽・観音物・絵画など個々の特技を引き出し発表の場を設け、生き甲斐のもてる生活を送れるよう努めている。</p> <p>日常生活の中でも、長い主婦業・家事を活かし、食事づくりや後片付け、掃除・洗濯を役割りとし、何かの役に立っている自己実現を味わえる支援をしている。</p> <p>プライベートな居室は家族との思い出や一人のゆっくりした空間を保持できるように訪室時にはノックし、礼儀を守っている。</p> <p>入浴・トイレ介助時には特に自尊心を大切に、さりげなく敬意をもって接している。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け目標から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<p>ホーム独自の勉強会や介護技術研修会を定期的に関き、職員全員が参加できるように取り組んでいる。</p> <p>各研修項目により介護職員個々とのJITを実施し、その記録を残し質の向上に努めている。</p> <p>運営推進会議が発足し、住民・家族を交え意見交換し地域福祉の充実を目指している。</p> <p>防災訓練を月2回実施し、ビデオでの研修も行い報告書に残している。</p> <p>制服と私服の区別、職員の手洗い・うがいがチェック表を作り、感染源とならないように取り組んでいる。</p> <p>事故報告書・ヒヤリハットは詳細な記録を残し、防止と改善策まで検討後、職員全てが確認している。</p>		